

住民の皆さんが主役です！

力を合わせて自律のまちづくり

平成19年度予算の内容と、主な事業をお知らせします

●一般会計予算の概要

日野町の平成19年度一般会計予算は、79億6千200万円で、前年度当初予算に比べて7億9千500万円（11・1％）の増額となりました。

歳入については、町税の個人町民税は、国の「三位一体の改革」による税源移譲により2億6千万円、定率減税の廃止により4千400万円の増額を、また法人町民税は、企業業績が引き続き回復傾向にあることから1億1千600万円の増額を見込み、全体で前年度に比べて4億6千100万円（15・3％）の増額となっています。

一方、「三位一体の改革」による所得譲与税が廃止されることに伴い、1億8千400万円の減額、また国の恒久的減税の廃止に伴い、減税補てん特例交付金が7千500万円の減額となっています。地方交付税（臨時財政対策債を含む）は、2億5千200万円（18・2％）の大幅な減額となっています。

歳出については、「行政改革大綱」および「行政改革実施計画（集中改革プラン）」に基づき、人件費の削減をはじめ各種施策の見

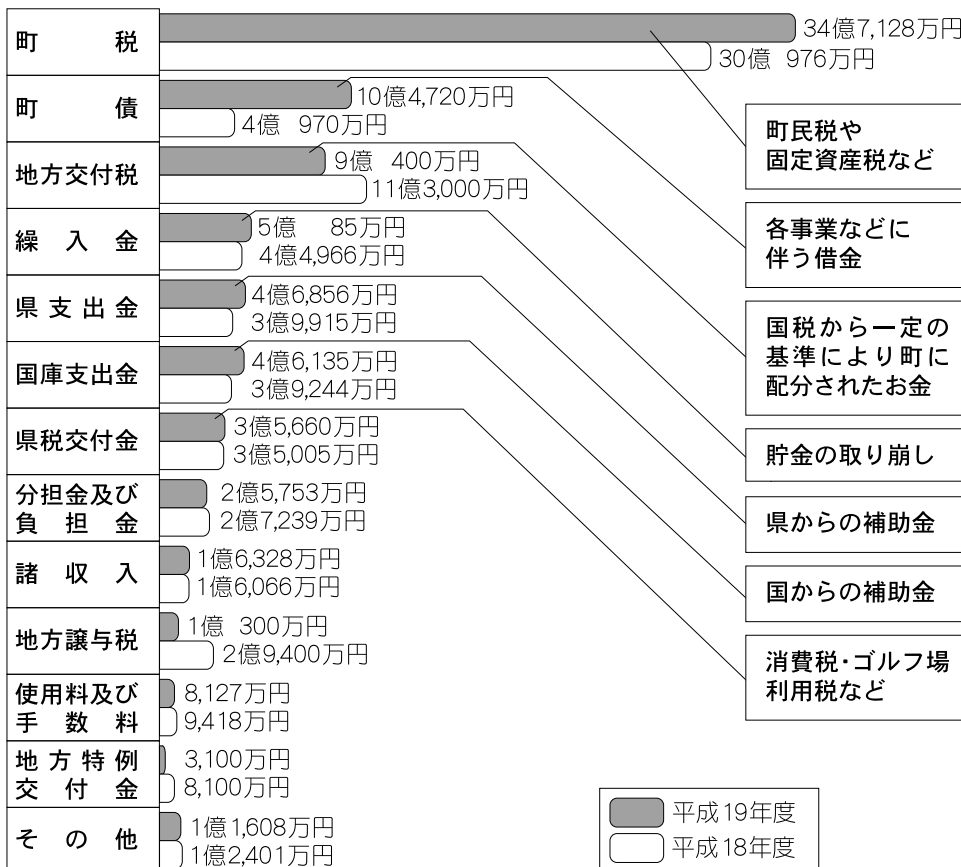
直しなどにより、経常的な経費を削減しました。

その中で、町の最重要課題である日野中学校の改築整備をはじめ、公民館を核としたまちづくり、子育て支援、後期高齢者への対応、防災・防犯対策など、地域住民の皆さんの暮らしに密着し、自律のまちづくりを進める重点課題事業に対して優先的に予算を配分しました。

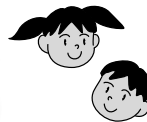
歳入から歳出を差し引いた財源不足額を補うため、町の貯金である財政調整基金等から約5億円を取り崩しました。

**平成19年度
一般会計予算
79億
6,200万円**

平成19年度一般会計歳入予算



子育て・教育



- ◆日野中学校の改築整備を実施(19年度から20年度の2ヵ年度継続事業)
- ◆不登校・いじめ等の対応、「日野町子育て・教育相談センター」の開設
- ◆妊婦健診の充実、子育て学習活動の実施
- ◆桜谷地区の学童保育所の施設整備

- ・日野中学校の改築整備に2ヵ年をかけて取り組みます(今年度事業費は11億9千500万円)。
- ・教育相談・子ども支援活動事業では、従来の生徒や保護者からの相談を受ける教育相談所の機能に加え、新たにいじめや不登校などの諸問題の未然防止や早期発見、早期対応ができる体制を整備します。
- ・誰もが安心して子どもを生み育てられる環境を整えるため、妊娠から子育てまで一貫した支援を実施します。平成19年度は妊婦一般健康診査の助成回数を、年2回から5回に拡充します。また、子育て座談会や子育てサロンなどの学習の場を提供します。
- ・日野町の恵まれた自然を次世代に引き継いでいくため、小学校4年生が森林の役割や山林の仕事などについて体験を通して学ぶ、森林環境学習「やまのこ」事業を実施します。

(主な事業)

(予算額)

新 日野中学校整備事業	11億9,529万円
新 森林環境学習「やまのこ」事業	56万円
拡 児童手当支給事業	1億7,990万円
拡 児童健全育成事業(学童保育)	1,980万円
拡 母子保健事業(妊婦健診など)	1,310万円
拡 教育相談・子ども支援活動事業	585万円
拡 子育て学習活動推進事業	68万円
保育所運営事業	1億5,369万円
町史編さん事業	4,641万円



新……平成19年度新規事業

拡……平成19年度拡充事業

平成19年度一般会計歳出予算(目的別)

平成19年度各会計予算

会 計 名	予 算 額
一 般 会 計	79億6,200万円
老人保健特別会計	22億 44万円
国民健康保険特別会計	17億3,441万円
介護保険特別会計	12億6,405万円
公共下水道事業特別会計	12億1,161万円
水道事業会計	8億6,310万円
農業集落排水事業特別会計	2億 59万円
介護老人保健施設特別会計	6,861万円
簡易水道特別会計	1,689万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,310万円
西山財産区会計	264万円
合 計	155億3,744万円

22億7,035万円

12億 893万円

教 育 費

17億3,579万円

民 生 費

17億 537万円

7億8,847万円

公 債 費

7億7,205万円

7億8,474万円

総 務 費

8億 37万円

7億2,696万円

農 林 水 産 業 費

7億7,143万円

5億9,754万円

土 木 費

8億2,644万円

5億5,472万円

衛 生 費

5億5,795万円

2億9,345万円

消 防 費

2億8,687万円

1億 715万円

商 工 費

1億2,211万円

8,922万円

議 会 費

9,085万円

1,261万円

労 働 費

2,363万円

100万円

予 備 費

100万円

平成19年度

平成18年度



福祉・医療

◆生活習慣病などの早期発見と予防の取り組み ◆地区社会福祉協議会活動の充実 ◆後期高齢者医療制度の円滑な実施

- ・生活習慣病の早期発見と予防のための健康診査、健康教室、健康相談などを実施します。
- ・平成19年2月1日に設立された滋賀県後期高齢者医療広域連合に対して負担金を拠出するほか、後期高齢者医療制度への円滑な移行に向けた取り組みを実施します。

(主な事業)	※	(予算額)
新 後期高齢者医療制度移行準備事務事業		3,500万円
拡 国民健康保険特別会計繰出金		1億2,542万円
拡 社会福祉協議会活動事業		754万円
拡 シルバー人材センター運営事業		763万円
社会福祉協議会運営事業		3,481万円
老人クラブ活動事業		346万円
老人保健事業		2,583万円
老人保健特別会計繰出金		1億8,405万円
介護保険特別会計繰出金		1億9,696万円
滋賀県後期高齢者医療広域連合負担金		814万円
障害者共同作業所入所助成事業		1,137万円
障害者自立支援事業		2億 41万円
障害者地域生活支援事業		1,592万円
県・町単独福祉医療費助成事業		1億4,143万円



新 ……平成19年度新規事業 **拡** ……平成19年度拡充事業

※平成20年4月から、現在の老人保健制度が「後期高齢者医療制度」に変わります。
75歳以上の高齢者等は、これまでの国民健康保険や被用者保険から「後期高齢者医療制度」に加入することになります。

「集中改革プラン」の

着実な実行を進めていきます

全国の市町村においては、極めて厳しい財政状況の中、行財政改革に積極的に取り組み、行財政基盤の充実・強化を図っています。

今後、一層進行することが見込まれる少子高齢化や権限移譲に的確に対応し、持続発展可能なまちづくりを目指す必要があります。

そこで、日野町では「集中改革プラン」に基づき、人件費の削減をはじめ各種施策や経常的な経費の見直しを着実に実行し、平成19年度当初予算を編成しました。歳出削減の内容は次のとおりです。

歳出削減の具体的な取り組み

(金額は対前年度比)

① 人件費関係 約8,900万円の減

議員定数(2名)、町長10%、副町長等7%、職員3%、管理職手当1~4%、通勤手当の見直し、退職者の不補充など

② 町単独補助金の見直し 約600万円の減

廃止 日野交通安全運転管理者協会補助金、
墓地環境整備事業補助金

縮減 日野町社会福祉協議会運営補助金、
老人保健協力推進補助金、
日野町土地改良区運営補助金など

産業・観光

- ◆グリーン・ツーリズムの推進（日野祭曳山体験・天然記念物ツアー・日野菜体験など）
- ◆農地・水・環境保全向上対策として、地域の協働活動を支援
- ◆石楠花溪の保存整備
- ◆地域経済の活性化のため住宅リフォーム助成を継続

- ・都市と農村の交流体験や農家民泊を通して町をPRするとともに、地域の活性化を図るため、グリーン・ツーリズムの推進に積極的に取り組みます。
- ・農地・農業用水の保全や環境こだわりの農業に取り組むため、地域が一体となった共同活動や営農活動を実施する団体を支援します。
- ・地域経済の活性化を図るために、個人住宅のリフォームを町内業者に発注した方に対して、経費の一部を助成します。

(主な事業)	(予算額)
新 農地・水・環境保全向上対策事業	1,021万円
新 石楠花溪保存整備事業(倒木や枯木等の伐採、除去)	218万円
拡 担い手育成対策事業	125万円
拡 特産農産物振興事業(日野菜の生産拡大)	90万円
拡 有害鳥獣駆除事業	517万円
グリーン・ツーリズム推進事業	113万円
森林組合への運営補助	258万円
グリム冒険の森の管理運営	1,032万円
里山整備事業	250万円
商工会への補助	1,418万円
住宅リフォーム促進助成事業	300万円
観光資源保存活用事業	240万円
観光協会への補助	1,461万円



新 ……平成19年度新規事業 **拡** ……平成19年度拡充事業

③負担金の見直し

約700万円の減

廃止

日野地区交通安全対策協議会

縮減

交通安全協会負担金、
日野川流域土地改良区経常賦課金など

④委託料の見直し

約600万円の減

路線バス運行委託料、河川等水質分析業務委託料、音羽城址・石楠花溪等清掃業務委託料、施設の指定管理者制度の導入



▲「グリム冒険の森」は今年度から5年間、指定管理者制度により「熊野ワークス企業組合」が施設の管理運営をされます。
(写真はレオ・パーク・オープニングセレモニーの様子)

次のページに続く



公共事業

◆町道内池水口線の完成

◆着実な公共下水道整備事業の実施

- ・町道内池水口線の改良工事を完成させるとともに、町道や里道などの維持管理に取り組みます。
- ・日野町の取り組みが県事業に発展した、自治会のご協力による河川浚渫事業を、昨年度に引き続き実施します。

(主な事業)

(予算額)

道路維持補修事業	1,714万円
緊急地方道路整備交付金事業	3,001万円
道路改良工事県事業負担金	765万円
急傾斜地崩壊対策事業	3,100万円
里道改良補助事業	400万円
河川管理事業	418万円
公共下水道事業特別会計繰出金	3億3,913万円
農業集落排水事業特別会計繰出金	9,636万円



⑤経費の節減

約400万円の減

加除式図書追録の見直し、町政推進広告料の見直し、勤労福祉会館および林業センターの空調機更新に伴う電気代の節減、公用車の集中管理化による更新の取りやめ、電算システムの更新に伴う経費の節減など

⑥事務事業の廃止

約200万円の減

議員委員会出席時費用弁償の廃止、日野文化会館の閉館に伴う管理経費の削減、児童遊園の廃止に伴う損害賠償保険料の削減など

⑦事務事業の縮小・制度の見直し

約1千200万円の減

100歳敬老祝金、農地・水・環境保全向上対策事業の実施に伴う農道補修用資材の配布地域の限定など





住みよいまちづくり

- ◆公民館を核とした元気ある地域づくり
- ◆安全なまちづくり自主防犯活動の推進
- ◆「めざせ一世帯一日100gのごみ減量」の推進
- ◆木造住宅の耐震、バリアフリー化改修に対する補助

- ・地域のさまざまな団体や住民の皆さんの自主的な活動を支援し、公民館を核としたまちづくりをすすめます。
- ・地域のつながりを活かした安全・安心などの諸課題の解決に対する自主的な取り組みを支援することにより、地域の防犯対策を推進します。
- ・「チャレンジ23,000人のごみ減量・リサイクル大作戦」と題して、ごみ減量に取り組みます。また、紙パック・白色トレイを役場で回収します。
- ・地域住民の皆さんが安心して生活できる環境を整備するため、消防防災施設の整備や個人木造住宅に対する耐震診断員の無料派遣などを実施します。

(主な事業)	(予算額)
新 耐震改修促進計画策定事業	740万円
拡 地区公民館活動事業	5,285万円
元気ある地域活動推進事業	200万円
安全なまちづくり自主活動事業	100万円
路線バス運行経費	4,653万円
八日市衛生プラント組合(し尿処理)負担金	1億 287万円
布引斎苑組合(火葬)負担金	1,254万円
中部清掃組合(ごみ処理)負担金	1億5,396万円
ごみ収集経費	8,209万円
リサイクル促進事業(資源回収補助等)	284万円
木造住宅耐震診断員派遣事業	30万円
木造住宅耐震・バリアフリー改修事業	60万円
東近江行政組合(消防など)負担金	2億6,271万円
消防団運営事業	2,195万円
消防施設整備事業(防火水槽・小型動力ポンプ)	850万円
防災活動事業	194万円

新……平成19年度新規事業 **拡**……平成19年度拡充事業



人と人のつながりを大切に

みんなが住みよいまちにしましょう